

1 法人運営事業

地域住民に信頼される社会福祉協議会としての事業、活動を推進していくために、適切な法人運営に向けた取り組みを進めました。

(1) 理事会の開催（6回）

開催日時	出席数	議 題
平成30年6月8日(金) 午後2時～午後3時30分	9名 監事2名	(1) 職務執行状況報告について (2) 平成29年度事業報告並びに決算報告について 監査報告 (3) 評議員候補者の推薦について (4) 定時評議員会の開催(案)について (5) その他
平成30年7月2日(月) 午後2時～午後2時30分	9名 監事2名	(1) 副会長、常務理事の選定について (2) 評議員選任・解任委員会の委員の選任について (3) その他
平成30年9月9日(日) 午前9時30分～ 午前11時30分	9名 監事2名	(1) 職務執行状況報告について (2) 今後の事業計画(案)及び採用人員について (3) 第2回評議員会の開催(案)について (4) その他
平成30年11月8日(木) 午前9時30分～ 午前10時30分	9名 監事2名	(1) 定款の一部変更(案)について (2) 幼保連携型認定こども園 園則の制定について (3) 第3回評議員会の開催(案)について (4) その他
平成31年1月29日(火) 午後1時35分～ 午後2時30分	9名 監事2名	(1) 職務執行状況の報告について (2) 被顕彰者の決定について (3) その他
平成31年3月19日(火) 午後2時～午後3時30分	9名 監事2名	(1) 諸規則の制定及び諸規程の一部改正等について (2) 平成31年度事業計画並びに収支予算について (3) 第4回評議員開催(案)について (4) その他

(2) 評議員会の開催 (4回)

開催日時	出席数	議 題
平成30年6月29日(金) 午前10時～午前11時30分	18名 会長 監事1名	(1) 平成29年度事業報告及び収支決算報告について 監査報告 (2) 理事の選任(案)について (3) その他
平成30年9月25日(火) 午後2時～午後3時20分	19名 会長	(1) 今後の事業計画(案)について (2) その他
平成30年11月26日(月) 午前10時～午前10時45分	15名 会長	(1) 定款の一部変更(案)について (2) その他
平成31年3月29日(金) 午前10時～午前10時50分	16名 会長	(1) 平成31年度事業計画並びに収支予算について (2) その他

(3) 監査の実施 (2回)

開催日時	出席数	議 題
平成30年5月28日(月) 午前10時～午前11時30分 (社協監事による監査)	2名	(1) 平成29年度事業監査について (2) 平成29年度収支決算について (3) その他
平成30年8月3日(金) 午前10時～午後3時 (総合福祉センター、関屋 保育園、志都美保育園)	奈良県福祉 医療部5名 香芝市監査 事務局1名 社会福祉課 2名 子ども課 3名	(1) 社会福祉法人監査、社会福祉施設関屋保育園並び に志都美保育園運営について (労務、処遇、給食関係及び就業、給料関係) (2) 障害児通所支援事業について (3) その他

(4) 経営基盤の強化

理事・評議員関係団体、各地域福祉推進団体や自治連合会他、直接または社協広報等を通じて会員の募集を行いました。その結果、前年比 165%となりました。今後、更に関係団体における個人会員の増加及び地域の社会福祉法人等にも協力を求めていきます。

年度	29年度	30年度
個人会員	184人	314人
団体会員	42団体	60団体
寄 付	547,574円	1,373,439円

(5) 効率的な事業運営

年々多様化する相談や業務等に幅広く対応すべく、組織体制の見直し・検討を行い、次年度より職員を増加し新体制での運営を開始することを決定しました。電子媒体（電子決済、電子保存等）の活用については、規程等の整備が必要となるため、引き続き推進を図っていきます。

(6) 諸規程の整備

円滑な業務の推進、法改正等に伴い、規則の制定及び各種改正等を行いました。

- ・定款の一部改正
- ・幼保連携型認定こども園 園則（運営規程）の制定
- ・嘱託職員等就業規則の一部改正
- ・経理規程の一部改正
- ・障害児通所支援事業運営規程の一部改正
- ・新規採用者支援金支給規則の制定
- ・クレジットカード利用規則の制定
- ・こども園移行に伴う関屋保育園及び志都美保育園運営規程の廃止

(7) 職員採用試験の実施

社会福祉協議会、関屋保育園、志都美保育園の職員退職による補充と新規事業による体制強化、事業充実を図るため採用試験を実施しました。

採用職種 一般事務職員、社会福祉士、子育て支援職員（保育教諭、指導員）

試験 第1回 第一次：平成30年11月18日（日）[総合適正検査 SPI3]

第二次：平成30年11月25日（日）[小論文・運動能力検査・面接]

応募 一般事務職員 11名、社会福祉士 4名、子育て支援職員 9名

第2回 第一次：平成31年2月3日（日）[総合適正検査 SPI3・集団面接]

第二次：平成31年2月9日（日）[小論文・運動能力検査・個人面接]

応募 子育て支援職員 9名

採用決定 13名（一般事務職員 3名、社会福祉士 1名、子育て支援職員 9名）

(8) 社会福祉協議会職員採用試験委員会の開催（4回）

公正かつ適正な職員採用試験を行うため、社会福祉協議会職員採用試験委員会を開催しました。

日 時 平成30年10月10日（水）午後2時～

11月25日（日）午前9時30分～

平成31年2月3日（日）午前10時30分～

2月9日（土）午前11時～

内 容 募集及び試験方法の決定、面接及び採点、合格者の決定及び報告

(9) 顕彰及び広報啓発

イ 社会福祉大会の開催

社会福祉関係者をはじめ社会福祉に関心のある市民が一堂に会し、誰もが安心して暮らせる豊かな社会づくりを目指し、今後の活動の決意を新たにするとともに多年にわたり本市社会福祉の発展に貢献された方々への顕彰を行うため、香芝市社会福祉大会を開催しました。

また、第2部では、地域共生社会の実現に向けた先進地域の取り組みについて記念講演を開催しましたが、参加者が昨年より減少し周知方法や集客について課題が残りました。

日 時 平成31年2月25日（月）午後1時30分～午後3時40分

場 所 香芝市文化施設ふたかみ文化センター 市民ホール

参加人数 138人

内 容 式典及び表彰

表彰状贈呈22名

記念講演

テーマ 『生きづらさを抱える方の地域応援団をつくる』

東近江圏域・暮らし応援センター“Tekito-”

センター長 野々村 光子 氏

ロ 広報活動

「社協だより」を奇数月に年6回（全戸配布176,050部）発行いたしました。

ハ ホームページ等での情報提供

ホームページ、メールマガジン（発行回数月2回：登録者数53名）、Facebook（投稿回数150回：リーチ数週平均100回）、災害ブログ等で社協活動の紹介、災害ボランティア情報等をリアルタイムで発信し、情報の提供・公開を行いました。

(10) 評議員選任・解任委員会の開催（1回）

開催日時	出席数	議 題
平成30年6月15日(月) 午前10時～午前10時15分	委員3名 会長	(1)次期評議員候補者の選任について (2)その他

(11) 職員研修の実施

職員労務管理や資質向上を図るため職員研修の実施及び専門研修への参加促進を行いました。

研修名	期日	場所	参加者
「家族支援を学ぼう！」研修会	8月23日	関西福祉科学大学	CSW1名
生活困窮者自立支援セミナー	10月10日	大和高田市	担当者2名
成年後見制度利用促進研修会	11月16日	橿原市	担当者2名
生活福祉資金貸付事業担当者研修会	11月30日	橿原市	担当者1名
ひきこもりコネクト	12月9日	豊中市	CSW1名
奈良県広域就労準備事業事例検討会	12月10日	橿原市	担当者2名
奈良県広域就労準備事業事例検討会	1月24日	橿原市	担当者2名
ファシリテーション研修	2月12日	橿原市	CSW2名
生活困窮者自立支援事業従事者養成研修 伝達研修	3月7日	橿原市	担当者2名
コミュニティソーシャルワーク研修 ーフォローアップ講座ー	3月11日	橿原市	CSW1名

研修名	期日	場所	参加者
福祉後見推進フォーラム	3月18日	橿原市	担当者2名

※ 障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所及び各保育園においては、技術・知識の向上の為、各々外部・内部の研修に参加しています。

2 地域福祉推進事業

地域の福祉力向上に取り組みました。

(1) 災害ボランティアセンター設置事業の実施

香芝市と連携を取り、災害ボランティアセンター設置に伴う香芝市地震防災対策アクションプログラムの更新並びに香芝市社会福祉協議会災害マニュアルの点検修正を行いました。また、台風通過の際には、地域福祉推進委員会やふれあいいきいきサロン実施組織と連携し、要支援者等の被災状況の把握を行い、有事の際の初動体制確認を実施しました。さらには、平成30年7月豪雨災害により甚大な被害のあった倉敷市へ災害ボランティアセンター運営支援のため職員1名を派遣しました。

(2) 地域福祉推進委員会活動推進事業の実施

住民自らが地域（おおむね自治会単位）で起こりうる生活上の課題に対して、話し合える場づくりを行い、課題解決に向け地域福祉活動に取り組むため、地域福祉推進委員会活動を支援しました。新たに関屋桜が丘地域、晴実台地域において地域福祉推進委員会「竹の杜茶論」が組織化されましたが、鎌田地域において鎌田福祉推進会「ひまわり会」の活動が休止となりました。

地域福祉推進委員会名	活動地域	設立年月	中学校区
逢坂福祉推進委員会	逢坂	平成7年4月	香芝
磯壁みつわ会	磯壁	平成12年7月	
藤山一丁目地域福祉推進委員会	藤山一丁目・共栄藤山台	平成21年5月	
北今市地域福祉推進委員会	北今市	平成29年6月	
せきや青葉台手をつなごう会	せきや青葉台	平成7年4月	香芝西
関屋近鉄住宅地域福祉推進委員会	関屋近鉄住宅地	平成7年10月	
地域福祉推進委員会「竹の杜茶論」	関屋桜が丘・晴実台	平成30年8月	
ふれあい西真美	西真美	平成7年8月	香芝東
瓦口地域福祉推進委員会	瓦口	平成21年11月	
東良福寺福祉推進委員会	東良福寺	平成27年4月	
平野の福祉を進める会	平野	平成6年10月	香芝北
白鳳ふれあいの会	白鳳台	平成8年5月	
畑ノ浦・旭ヶ丘しみず会	畑ノ浦・旭ヶ丘	平成14年5月	
尼寺地域福祉推進委員会	尼寺	平成20年6月	
旭ヶ丘地域福祉推進委員会	香芝・旭ヶ丘ニュータウン	平成25年4月	

(3) 地域ふれあい食事サービス事業の実施

地域において社会的に孤立しがちな高齢者等に対して、地域の集会所や公民館等において会食会や居宅への配食を毎週または2週に1回実施することにより、高齢者等の孤立を解消し、同時に近隣住民・ボランティアによる暮らしのSOSをキャッチするための、見守りネットワークの構築を推進しました。なお、実施地域の増加に至っていないことに課題が残りました。

年度	29年度	30年度
対象者	9地域 103人	8地域 99人
見守り状況	延1,873回（食）	延1,932回（食）

(4) ふれあい・いきいきサロン推進事業の実施

住民同士の新たな関係を深めるため、地域の集会所や公民館等の身近な場所を利用し、交流の場としてのふれあい・いきいきサロンの支援を行いました。新たに南良福寺ふれあいサロン、わくわくサロン 絆、竹の杜茶論、別所ふれあいサロンの4つの活動が組織化されましたが、桜が丘ふれあいサロン、ふれあいカフェ「てとて」の2つの活動が休止となりました。

サロン名	実施団体名	活動地域	設立年月	中学校区	
下田いきいきサロン	下田いきいきサロン	下田地区	平成 25 年 5 月	香芝	
狐井やすらぎサロン	狐井やすらぎサロン	狐井	平成 28 年 10 月		
北今市あったかいいきいきサロン	北今市地域福祉推進委員会	北今市	平成 29 年 6 月		
良福寺いきいきサロン	良福寺いきいきサロン	良福寺	平成 29 年 8 月		
南良福寺ふれあいサロン	南良福寺ふれあいサロン世話人会	南良福寺	平成 30 年 5 月		
近住いきいきサロン	関屋近鉄住宅地域福祉推進委員会	関屋近鉄住宅地	平成 11 年 6 月	香芝西	
二十日会いきいきサロン	二十日会いきいきサロン推進委員会	関屋（瑞宝園）	平成 24 年 4 月		
田尻ふれあいサロン	田尻ふれあいサロン	田尻	平成 24 年 10 月		
松ヶ丘いきいきサロン	松ヶ丘いきいきサロン	松ヶ丘	平成 24 年 10 月		
青葉台サロン	せきや青葉台手をつなごう会	せきや青葉台	平成 27 年 9 月		
わくわくサロン 絆	わくわくサロン 絆	あしびハイツ	平成 30 年 7 月		
竹の杜茶論	地域福祉推進委員会「竹の杜茶論」	関屋桜が丘・晴実台	平成 30 年 8 月		
土曜サロン 喫茶サロン・ド・ふれあい	ふれあい西真美	西真美	平成 11 年 6 月		香芝東

サロン名	実施団体名	活動地域	設立年月	中学校区
真美いきいきサロン	真美いきいきサロン	真美ヶ丘	平成 11 年 11 月	香芝東
サロン憩い	五ヶ所喜楽会	五ヶ所	平成 25 年 5 月	
東良福寺いきいきサロン	東良福寺福祉推進委員会	東良福寺	平成 29 年 4 月	
別所ふれあいサロン	別所ふれあいサロン	別所	平成 30 年 4 月	
白鳳ふれあいいきいきサロン	白鳳ふれあいの会	白鳳台	平成 24 年 4 月	香芝北
上中ふれあい喫茶なごみ	上中ふれあいの会	上中	平成 25 年 5 月	

(5) コミュニティソーシャルワーク事業の実施

住民と専門機関の協働による地域福祉を推進することを目的に、4つの中学校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーを配置しました。

イ 地域づくりの啓発

自治会、民生委員・児童委員、地域福祉推進委員会、ふれあい・いきいきサロンのそれぞれの所属する連合会等に対して、「つながり」「見守り」のある地域づくりについての啓発を実施しました。

ロ 「つながり」「見守り」ある地域づくりの支援

自治会、民生委員・児童委員、地域福祉推進委員会、ふれあい・いきいきサロン等の地域の各種団体と協働し、住民の交流を深める「つながりづくりの活動」と、社会的孤立を防止するための見守り活動の支援を実施しました。

ハ 気になる会議の開催支援

自治会、民生委員・児童委員、地域福祉推進委員会、ふれあい・いきいきサロン等に働きかけ、地域の課題発見力を高めるための「気になる会議」の開催について支援しました。

ニ 住民と専門職等のネットワークの構築

地域で早期に発見された課題について、課題や要因を整理しながら適切な専門機関になど、住民と専門機関のネットワークづくりをすすめました。

ホ コミュニティソーシャルワーカー支援内訳

年度	広域支援回数	地域支援				個別支援						気になる会議		その他
		関係形成支援回数	組織化支援回数	継続支援回数	連絡調整回数	直接相談回数	間接支援回数	地域から発見回数	他機関へ引継回数	地域との連携回数	ケア会議開催回数	提案・説明回数	開催回数	
29	26	51	59	182	148	62	44	12	37	34	6	18	19	5
30	39	47	43	152	91	77	51	32	31	41	17	9	36	3

(6) 地域福祉推進協議会（平成24年9月設立）の開催支援等

香芝市地域福祉推進委員会及びふれあい・いきいきサロン実施地域から組織される、香芝市地域福祉推進協議会の開催支援及び香芝市地域福祉推進協議会と共催で研修会を開催しました。

イ 「香芝市地域福祉懇談会」

日 時 平成30年6月26日（火） 午後1時30分～午後4時

場 所 香芝市総合福祉センター

内 容 【第1部】午後1時30分～午後2時15分

香芝市社会福祉協議会活動説明

『平成30年度 香芝市社会福祉協議会事業について』

『地域福祉推進委員会活動について』

『ふれあいいきいきサロン活動について』

【第2部】午後2時25分～午後3時50分

テーマ別懇談会

① 『広報紙？フェイスブック？活動の宣伝を考える！』

② 『男性？女性？子育て世代？さまざまな居場所づくりとは！』

③ 『地域の様々な活動とリンクする見守り！』

④ 『地域福祉推進委員会の位置づけは？』

参加人数 40名 16地域

ロ 「地域福祉研修会」

日 時 平成31年1月30日（水） 午後2時～午後3時30分

会 場 香芝市総合福祉センター 3階 会議室2

研修内容 香芝市地域福祉計画・香芝市地域福祉活動計画の進捗状況について

参加人数 30名 16地域

(7) ひきこもり家族の集い開催

コミュニティソーシャルワーク事業の取り組みから地域課題として顕在化した、長期化、高齢化を伴うひきこもりの問題を社会的孤立や制度の狭間における問題として対応していくため、ひきこもり状態にある当事者を抱える家族の孤立感や疲弊感を軽減することを目的に『ひきこもり家族のつどい』を月1回開催しました。

年度	参加世帯	のべ参加人数	1回平均	本人の年齢				
				20代	30代	40代	50代	不明
29	15世帯	57人	4.75人	4人	3人	4人	0人	4人
30	14世帯	63人	5.25人	6人	3人	3人	1人	1人

3 福祉総合相談事業

地域の「福祉総合相談」の第1窓口としての機能充実を図るため、関連機関とのネットワークの強化・整備等を図りました。

(1) ふれあい総合相談事業

イ 一般相談（事務局職員対応）

（開催曜日：時間）月曜日～金曜日：午前9時～午後5時

日常生活における様々な相談ごとで、相談窓口に迷う方々からの第1窓口として、主

に市役所や総合福祉センター受付、交換から転送を受け、直接の助言及び適切な窓口を紹介しました。

年度	29年度	30年度
相談	延250件	延231件

ロ 老人健康相談（看護師対応）

（開催曜日：時間）月曜日～金曜日（但し木曜日、祝日は除く）：午前10時～正午
総合福祉センター2階の高齢者生きがいゾーン相談室にて、日々来所される老人クラブ会員や一般の高齢者の健康相談を実施することで、定期的な健康維持を図りました。

年度	29年度	30年度
相談	延1,309件	延1,143件

ハ 心配ごと相談所の実施（民生児童委員・保護司・人権擁護委員・行政相談委員対応：原則として来所による対面相談）

（開催曜日：時間）毎月第1水曜日：午前9時～午後3時、毎月第2・3・4水曜日：午前9時～正午
単一または複合する日常生活における心配ごとで、整理のつかないものや相談窓口に迷う方々に対して豊かな経験と知識を持つ各種相談員による相談を行いました。

年度	29年度	30年度
相談	延33件	延27件

ニ 福祉法律相談（司法書士会）

（開催曜日：時間）毎月第2水曜日：午後2時～午後5時（予約制）
成年後見問題や相続、消費者金融問題ほか、専門知識を有する相談に対して、奈良県司法書士会から派遣された司法書士が対応に当たりました。

年度	29年度	30年度
相談	延23件	延26件

(2) 相談員研修の実施

今後さらに多様化する相談に対し、迅速かつ適切な助言できるように実施しました。

日 時 平成31年3月27日（水） 午後1時30分～午後3時30分
場 所 香芝市総合福祉センター
参加人数 16名（民生・児童委員、保護司及び人権擁護委員）
内 容 奈良県司法書士会 司法書士 村田英介氏による講義
「司法書士の業務内容、司法書士へのよくある相談」13：35～14：40

4 生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会受託事業）

低所得者、障害者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談援助を行い、その者の経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れることを目的に生活福祉資金貸付事業を実施しました。ま

た、公的制度や資金の貸付を利用するまでの間の生活に窮迫している相談者に対し、奈良県社会福祉協議会実施のフードレスキューを活用し食糧支援を行いました。

- (1) 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付
- (2) 相談支援及び償還指導

年度	29年度	30年度
相 談	124件	111件
既存貸付	130件	142件
新規貸付	14件	24件
フードレスキュー提供	22件	32件

5 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方や日常生活における管理に不安を持つ方の自己決定を出来る限り尊重しながら、福祉サービスの利用にかかる情報提供、助言、手続援助等を行い、自立した生活のための支援を行いました。

年度	29年度	30年度
認知症高齢者	19人	21人
精神障害者	0人	3人
知的障害者	7人	7人

(1) 福祉サービスの利用援助

福祉サービスの利用に関する相談を行いました。

(2) 日常的な金銭管理サービス

年金や福祉手当の受領に必要な手続きの支援、預金の出し入れの同行又は代行をしました。

(3) 大切な書類の預かりサービス

通帳、印鑑、証書類及び権利証などの保管をしました。

(4) 日常生活に必要な事務手続きの支援

日常的な郵便物や通知物の確認や、行政や事業所での必要な手続きの支援をしました。

(5) 定期的な訪問による生活変化の察知(見守り)

地域での支援体制をすすめ、利用者が災害時でも安心できる生活の確保をすすめました。

6 福祉団体活動支援事業

地域福祉を推進する社会資源として関係団体の支援を行いました。

(1) 福祉団体事務局

各団体福祉活動と双方向の情報交流と福祉団体の健全な育成を図り、社会福祉協議会が行う

事業・活動と一体的に進めるよう実施しました。今後は、地域福祉活動と各福祉団体との一層の関係充実をすすめながら、社会生活支援に一層つなげる必要があると考えます。

イ 香芝市老人クラブ連合会事業支援

- ・定例会長会及び役員会並びに定例女性部会開催
- ・健康づくり・介護予防事業（水浴歩行事業、いきいき健康麻雀教室及び大会、安全吹き矢講習会及び大会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、高齢者料理講習会ウォークラリー大会等）
- ・友愛訪問事業（金婚式、ひとり暮らし高齢者等訪問）
- ・親睦交流事業（ゴルフ大会、定例交流会、シニア祭、敬老旅行等）
- ・社会奉仕事業（各地域に対し、清掃奉仕等の呼びかけ）
- ・香芝市老人クラブ連合会広報誌「きずな」の発刊

ロ 香芝市身体障害者福祉協会事業支援

- ・役員会、総会の開催
- ・社会参加・交流事業（親睦旅行、研修、歩こう会、スポーツ交流、もちつき大会等）

ハ 香芝市母子寡婦福祉会事業支援

- ・役員会、総会の開催
- ・社会参加事業（交流会、日帰り旅行等）

ニ 香芝市ボランティア連絡協議会事業支援

- ・役員会、総会の開催
- ・研修会

ホ 香芝市遺族会事業支援

- ・役員会、総会の開催、護国神社参拝、平和学習等

(2) 福祉学習校指定事業（2校指定）

地域の機関、団体との連携協力をもとに、学校を中心に地域全体で福祉教育及びボランティア学習を推進する福祉的学習校を指定しました。

2校 香芝中学校、志都美小学校

(3) ボランティア育成研修事業

ボランティアグループがボランティア活動に必要な知識や技術を習得するため、市ボ連他のボランティアグループに支援を行いました。

7 共同募金事業

共同募金会の実施する赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動推進に協力し、集められた募金（配分金）より次の事業を実施しました。

(1) 共同募金、歳末たすけあい運動の協力

地域福祉推進委員会での運動推進や、公共施設や金融機関及びオークワ各店等への募金箱設置依頼、12月3日の市内全駅における募金運動を行いました。

(2) 寝たきり老人慰問の実施

9月の老人福祉月間に民生児童委員の協力を得て、寝たきりの高齢者に対し、慰問を実施しました。

年度	29年度	30年度
慰問者	2人	2人

(3) 重度障害者慰問の実施

12月に身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児者父母の会の協力を得て、それぞれの会員で重度障害者の方々に対し、慰問を実施しました。

年度	29年度	30年度
慰問者	76人	75人

(4) 歳末強化助成金事業

地域福祉推進委員会、母子寡婦福祉会が支援を必要とするひとり暮らし高齢者やひとり親世帯などの人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て、年末年始の時期に行われる事業に対し、助成を行いました。

年度	29年度	30年度
実施団体	13団体	13団体
対象者	335人	312人
地域住民等	2,285人	1,820人

(5) 配分事業

法人運営事業（広報啓発）、地域福祉推進事業（ふれあい食事サービス他）及び福祉団体活動支援事業（ボランティア団体・福祉学習校）に配分しました。

8 善意銀行事業

善意銀行を開設し、広く市民からの金銭、物品をお受けし地域社会へ還元しました。

(1) 車いす貸出事業

預託された車いすを一時的に必要とする方に対して貸出を行いました。

年度	29年度	30年度
貸出	116件	146件

(2) 配分事業

法人運営事業及び地域福祉推進事業に配分しました。

9 香芝市受託諸事業

香芝市からの委託事業である次の各事業について、適正な事業運営に努めました。

(1) ボランティアセンター事業

現在市内に点在しているボランティアの拠点として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動等（NPOやその他の市民活動を含む）を活性化することにより、人と人の繋がりのある地域社会の創造を目指しました。なお、コーディネートの地域、施設、学校への訪問調整や複数来所への対応、研究活動等の実施には、現在の職員1名では対応しきれないなどの課題がありました。

イ 香芝市ボランティアセンターの設置

- ・ボランティアセンターの運営 月～土(木曜を除く) 午前9時～午後4時
- ・ボランティア及びボランティアグループ等の登録
- ・ボランティア等相談の受付
- ・ボランティアセンター情報紙の発行（年6回）
- ・ボランティア活動機材の整備と貸出
- ・ボランティア保険加入促進
- ・ボランティア保険請求

年度	29年度	30年度
来所者	3,405人	3,076人
相談	377件	324件
登録団体	106団体	110団体
登録者	1,635人	1,887人
保険加入	1,390人	1,454人

ロ ボランティア講座の開催

香芝市を市民参加やボランティア活動の活発なまちにしていくために、ボランティアや市民活動の講座、体験を開催しました。

- ・ボランティア養成講座（基礎）

現在活動中の方などを対象に、開催しました。

タイトル 「災害ボランティア登録に向けて」

日時 平成31年3月11日（月） 午前9時30分～午後3時30分

場所 香芝市総合福祉センター

内容 ①体験「非常食の炊き出し」

講師：香芝市赤十字奉仕団

②講義「災害発生時の香芝市の香芝市初動について」

講師：香芝市生活安全課職員

③講義「災害発生時の消防署初動について」

講師：香芝消防署署員

④講義「災害発生時の香芝市社会福祉協議会災害ボランティアセンター初動について」

講師：香芝市社会福祉協議会職員

⑤説明「香芝市社会福祉協議会災害ボランティアセンター登録について」

参加人数 22名

・ボランティア養成講座（入門）

ボランティア活動をはじめてみたい方に対して開催しました。

タイトル 「はじめてのボランティア講座」

日 時 平成31年3月4日（月） 午前10時～12時

場 所 香芝市総合福祉センター

内 容 ①講義「ボランティアってなに？」

講師：香芝市ボランティアセンター職員

②ボランティア活動者の体験談

講師：キャンディーズ（代表 勇恵子）

③情報交換

参加人数 7名

・香芝のボランティア探検隊

ボランティア活動に興味のある小学校3年生から中学校3年生までを対象に、ボランティアフェスティバルの日に合わせて開催しました。

日 時 平成30年7月15日（日） 午前9時～午後3時

場 所 香芝市総合福祉センター ボランティアフェスティバル会場全体

参加人数 11名

協 力 ボランティアフェスティバル参加のボランティア

年度	29年度	30年度
養成講座・体験参加者	42人	40人

ハ ボランティアフェスティバルの開催

ボランティア活動に対する理解と協力、新たな活動者の増進、またボランティア活動者の交流を深めるために、ボランティアフェスティバルを開催しました。

日 時 平成30年7月15日（日） 午前9時～午後3時

場 所 香芝市総合福祉センター 全館

内 容 住民みんながボランティア

ボランティアフェスティバル in 香芝2018

～見よう、聴こう、やってみよう!!～

ボランティアセンター登録団体活動紹介（地域福祉活動紹介、展示パネル設置・活動体験・実演コーナーなど）、模擬店、子ども広場、ビンゴ大会

年度	29年度	30年度
参加団体	69団体	76団体
参加者数	約1,200人	約1,100人
実行委員会・担当会議等	29回	23回

(2) 生きがいゾーン管理運営事業

香芝市総合福祉センター生きがいゾーン（2階大広間、和室、茶室）の利用促進を図り、高齢者の福祉を増進するため、香芝市老人クラブ連合会等と連携しながら適切な管理運営につとめま

した。

開 館 平成30年4月1日～平成31年3月31日（祝日は除く）
午前9時～午後4時

年度	29年度	30年度
老人クラブ(大広間)	約7,140人	約6,913人
福祉団体等(大広間)	約1,700人	約2,180人

(3) 日本赤十字社事業

日本赤十字社奈良県支部への協力をしました。

- イ 日赤社費募集の協力
- ロ 災害見舞品等交付事業（布団・毛布など全半焼家庭に支給）
※1度の火災において罹災世帯1世帯に対して支給
- ハ 香芝市赤十字奉仕団活動支援（自主防災活動協力・9.1、1.17、3.11他防災啓発等）

(4) コミュニケーション支援事業

聴覚、言語機能、音声機能等の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人との意思疎通を仲介するために、手話通訳や要約筆記を行う者を養成しました。

- イ 手話奉仕員養成講座（入門、基礎の連続受講形式全46回）及び手話通訳士受講フォロー講座（手話奉仕員養成講座受講生他全5回）の開催
- ロ 聞こえのサポーター養成講座（全8回の開催）
- ハ 専任手話通訳者の設置

奈良県手話通訳者の登録を受けている者を専任手話通訳者として、1名配置。
月曜日～金曜日（午前10時～午後4時。ただし、水曜日は午後1時～4時）

年度	29年度	30年度
手話奉仕員養成講座参加者	40人	49人
聞こえのサポーター養成講座参加者	11人	8人
意思疎通支援業務	延2,125件	延3,977件
うち意思疎通支援者派遣	266件	370件

(5) 高齢者支援事業

香芝市総合福祉センターにおいて、高齢者の社会参加を高め、健康保持、交流を図ることを目的に老人クラブと協働してシニア祭、健康相談、介護相談並びに高齢者作品展を実施しました。作品展の開催に際しては、香芝市ボランティア連絡協議会の協力を得て行いました。

- イ シニア祭の開催（2階大広間）
日 時 平成30年9月7日（金）～25日（火）の日、木、土、祝日を除く
9日間 午前10時～午後3時
- ロ 高齢者作品展の実施（2階多目的室、創作芸室）
日 時 平成30年9月7日（金）～25日（火）の日、木、土、祝日を除く
9日間 午前10時～午後3時

年度	29年度	30年度
シニア祭参加者	1,323人	1,139人
高齢者作品展出展者	115点	106点

(6) 戦没者追悼式の開催

香芝市戦没者追悼式開催等を実施しました。恒久平和を継承していくためにも、平和学習を行っている小中学生等の青少年の参加が望まれます。

日 時 平成30年9月1日(土) 午前10時～正午
場 所 香芝市ふたかみ文化センター 市民ホール

年度	29年度	30年度
参加者	201人	169人

(7) 敬老会の開催

高齢者の方々に対して、御長寿を祝福し、永年の御苦勞に感謝するため敬老会を開催しました。また、老人クラブによるカラオケ大会の開催などもあわせて開催しています。

日 時 平成30年9月17日(月・祝) 午後1時～午後3時30分
場 所 香芝市文化施設 モナミホール

年度	29年度	30年度
参加者	530人	560人

(8) 障がい児(者)ふれあいの集いの開催

障がい児(者)とその家族にレクリエーションを通じ、ふれあい交流の場を提供し社会参加と自立への意欲を高めるために開催しました。香芝市ボランティア連絡協議会及び香芝市民生児童委員連合会との共催は、地域生活における支え合いにつながっています。

日 時 平成30年11月23日(金・祝) 午前10時～午後3時
場 所 香芝市総合福祉センター

年度	29年度	30年度
障がい児者	224人	139人
家 族	91人	74人
ボランティア・民生児童委員	122人	111人

(9) 生活支援コーディネーターの配置

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的として、地域において生活支援活動(サービス)の提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす生活支援コーディネーターを配置しました。

イ 専門職と地域(住民)の協働を進めるための支援

専門職団体等と協働し、専門職と地域(住民)をつなぐ仕組みづくりをすすめるために啓発や研修を行いました。

年度	29年度	30年度
内容	・訪問看護ステーション連絡会 (1回12人)	・介護支援専門員連絡会 (1回45人) ・自立支援型地域ケア会議への参加 (介護予防プラン60ケースへの助言)

ロ 見守り・ニーズ発見機能の強化

介護福祉課と連携し、課題を抱える高齢者の早期発見、早期対応のネットワークづくりを進めました。

年度	29年度	30年度
内容	・見守り協力事業者ネットワークの開発 ・見守り協定実務研修への協力	・見守り協力事業者ネットワークの拡充 (新規事業者 ガス事業者、理容店、美容店)

ハ 生活支援活動者の養成

介護福祉課と連携し、生活支援活動を行うボランティアを養成しました。

年度	29年度	30年度
内容	・生活支援ボランティア養成講座への協力 ・生活支援活動の組織化支援	・生活支援ボランティア養成講座への協力 ・ほほえみ香芝（有償福祉サービス団体）への組織化支援

ニ 協議体の運営支援

介護福祉課の開催する協議体について運営支援を行いました。

年度	29年度	30年度
内容	3回	3回

ホ 「通いの場・助け合い活動」ガイドブックの作成

自治連合会、老人クラブ連合会等の会議に参加し調査への協力依頼し、約110の活動について報告を受け、「通いの場・助け合い活動」ガイドブックを作成しました。

ヘ 香芝北中学校 地域支え合い活動推進セミナーの実施

介護福祉課が開催する地域支え合い活動推進セミナー対して、企画、登壇者調整、当日進行等の支援を行いました。

基調講演 「あなたはどんな地域（まち）で暮らしたいですか」

講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保さん

リレートーク みんなでワイワイ「わがまち☆お宝自慢！！」

尼寺自治会・尼寺地域福祉推進委員会、白鳳ふれあいの会、

ふたかみサロン、ほほえみ香芝

(10) 生活困窮者自立支援事業及び被保護者就労支援事業

イ 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の相談に応じて、アセスメントを実施して個人の状態にあった支援計画を策定し、必要なサービスにつなげました。

年度	29年度	30年度
新規相談	64件	67件
プラン作成	27件	33件
就労支援対象	18人	20人
就 労 者	16人	18人

ロ 被保護者就労支援事業

生活困窮者及び生活保護受給者へのアセスメント結果を踏まえ、公共職業安定所や協力企業を始め、就労支援に関する様々な社会資源と連携を図りつつ、その状況に応じた能力開発、職業訓練、就労支援等を行いました。

年度	29年度	30年度
正社員就労	3件	0件
契約社員就労	1件	0件
パートアルバイト	5件	3件
職業訓練	0件	2件

10 障害児通所支援事業（ひまわり園）・障害児相談支援事業（ひまわり）

障害児の自立支援を目的とし、障害児通所支援事業及び障害児相談支援事業を実施しました。

(1) 障害児通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）

イ 児童発達支援（1日定員：10人）

障害児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行いました。

・ひまわり教室

対 象 0歳～小学校就学前

利用日時 月～金曜日 午前9時～午後1時

療育内容 感覚統合、個人指導、集団指導(保護者分離・親子通園)、食事指導など

・つくし教室（幼稚園等に並行通所児童）

対 象 4歳～就学前

利用日時 月～金曜日 午後3時～午後4時

療育内容 感覚統合、個人指導、生活訓練など

ロ 放課後等デイサービス（1日定員：10人）

障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行いました。

・あさがお教室

対 象 小学1～3年生、ひまわり園の指導後児童

利用日時 土曜日 午前9時～午後4時

療育内容 社会に向けての自立支援（調理実習、スポーツなど）

年度	29年度	30年度
開所日	282日	283日
延利用児	2,470人	2,122人

(2) 障害児相談支援事業

障害児及びその保護者や介護者に対して情報の提供、相談、指導をはじめ、サービス利用に際しての関係機関との調整・連絡などの支援を総合的に行い、また、サービスの支給決定のプロセスにおいて、計画案の策定とモニタリングを行います。当該事業実施に際しては、これまで以上に各関係事業所等との連携を強めると共に、ひまわり園として長年に亘り早期療育を担ってきた立場から、事業の実施により今後の療育の推進をより一層図りました。

年度	29年度	30年度
開所日	295日	288日
計画作成	112件	192件
モニタリング	100件	68件

1.1 関屋保育園事業（定員：90人）

児童福祉法の理念に基づき、乳幼児が心身共に健やかに育成されるよう家庭と地域社会との密接な連携を根幹とし、日常保育や年間のいろいろな行事を通して相互の心の通い合いを大切にし、生命の保持、情緒の安定を図り、園児・保護者・職員が共に育ちあう保育を目指します。また、個別対応の必要な子どもには、その特性に応じた保育をすすめました。

イ 通常保育(日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休園 ※以下同様)

標準時間 午前7時30分～午後6時30分(土曜日：午前7時30分～午後2時)

短時間 午前8時30分～午後4時30分(土曜日：午前7時30分～午後2時)

ロ 延長保育

標準時間 午後6時30分～午後7時

短時間 午前7時30分～午前8時30分、午後4時30分～午後6時30分

ハ 一時保育

家庭事情により一時的に保育ができなくなった満6ヵ月以上就学前の子どもを保育しました。

午前8時30分～午後5時(土曜日：午前8時30分～正午)

ニ 地域の子育て支援

こっくらぶ 毎週金曜日 午前10時～午前11時30分

園庭開放・育児相談 毎週土曜日 午前10時～午前11時30分

- ホ 主な月行事 保育参観、運動会、作品展、誕生日会、生活発表会、卒園式
 ヘ その他 避難訓練、身体計測、体育遊び、個人・クラス懇談、地域交流、健康診断、
 防犯教室、防火訓練、交通安全教室、春・秋遠足、5歳児修了遠足等

年度	29年度	30年度
園 児	108人	96人
一時預かり	延194人	延213人

1 2 志都美保育園事業（定員：90人）

児童福祉法の理念に基づき、乳幼児が心身共に健やかに育成されるよう家庭と地域社会との密接な連携を根幹とし、日常保育や年間のいろいろな行事を通して相互の心の通い合いを大切にし、生命の保持、情緒の安定を図り、園児・保護者・職員が共に育ちあう保育を目指します。また、個別対応の必要な子どもには、その特性に応じた保育をすすめました。

- イ 通常保育(日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休園 ※以下同様)

標準時間 午前7時30分～午後6時30分(土曜日：午前7時30分～午後2時)

短時間 午前8時30分～午後4時30分(土曜日：午前7時30分～午後2時)

- ロ 延長保育

標準時間 午後6時30分～午後7時

短時間 午前7時30分～午前8時30分、午後4時30分～午後6時30分

- ハ 地域の子育て支援

スマイルランド 毎週月曜日 午前10時～午前11時30分(※5～2月)

園庭開放・育児相談 毎週土曜日 午前10時～午前11時30分

- ニ 主な月行事 保育参観、運動会、作品展、誕生日会、生活発表会、卒園式

- ホ その他 避難訓練、身体計測、体育遊び、個人・クラス懇談、地域交流、健康診断、
 防犯教室、防火訓練、交通安全教室、春・秋遠足、5歳児修了遠足等

年度	29年度	30年度
園児	95人	98人

1 3 その他の事業

(1) 福祉自動車貸出事業

車いす等を使用しなければ外出困難な方に対して福祉自動車の貸出を行いました。(サイドリフトアップ車1台・スロープタイプ車2台他)

年度	29年度	30年度
貸出	153件	138件

(2) イベント用備品貸出事業

地域等において世代間交流事業等を実施するための、イベント用備品の貸出を行いました。なお、時期的に各地の行事が重なり、譲り合いが必要となったことから、計画的な備品補充が必要と考えます。(ガスコンロ、鉄板、たこ焼き器、鍋、餅つき器、レジャーテーブル、テント等)

年度	29年度	30年度
貸出	62件	58件